

# 南三陸高等学校

## 校訓 真・和・敬



## 1 基本データ

創創立：大正13年（創立101年）  
課程・学科：全日制課程・普通科、情報ビジネス科  
生徒数：149名  
所在地：〒986-0775  
宮城県本吉郡南三陸町志津川字廻館92番2  
TEL：0226-46-3643  
FAX：0226-46-3648

ホームページアドレス：  
<https://msanriku-hs.myswan.ed.jp/>  
電子メールアドレス：  
msanriku-hs @ od.myswan.ed.jp @の前後にスペース有  
主な交通機関：  
JR 気仙沼線 BRT・志津川中央団地駅から徒歩約20分  
志津川駅から徒歩約15分。  
JR 気仙沼線 BRT・志津川駅から南三陸町乗合バスに乗り（3分）

## 2 学校の特徴

### 校 是

#### 志高 志を高く

令和5年4月の校名変更に伴い、在校生及び卒業生から「長年親しまれてきた『志高』という名称を残してほしい」という声が多く寄せられ、志高を校是として残り、次の100年に向けて志を高く持ち、何事にも果敢にチャレンジしていく決意を表しています。

### (1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、大正13（1924）年に町立志津川実科高等女学校として創立し、戦時中の志津川高等女学校を経て、戦後の学制改革で県立男女共学の宮城県志津川高等学校となりました。平成8（1996）年に学科改編を行い、商業科を情報ビジネス科に改編し、普通科も類型選択制を取り入れました。平成15（2003）年から、本校と南三陸町内の中学校との県内初の地域連携型中高一貫教育がスタートしました。「南三陸町地域連携型中高一貫教育」では、中学校・高等学校の6年間の中で、系統的・総合的に教育を行うことにより、地域・社会で生きて働く、「知識・技能（技術）」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を培い、「地域を愛し、未来を見据え、地域社会を切り拓く生徒」の育成を目指しています。平成29（2017）年から、公営塾である「志翔学舎」が本校内に設立され、本校の生徒であれば誰でも無料で利用することができ生徒の進路達成に向けてサポートが充実しています。

令和5（2023）年から県内初の全国募集選抜が行われ、初年度は県外から5名、昨年度は10名、今年度は9名の生徒が入学しました。

本校は、宮城県の北東部に位置した南三陸町にあり、町内の山や海といった自然環境の中で地域と密着した教育活動を行っており、勉強や部活動に取り組む環境が整っています。本校の施設としては、令和4（2022）年に第一体育館の改築が行われ、令和5（2023）年に人工芝のテニスコートが完成しました。他にも第二体育館、弓道場、グラウンド、2つのコンピュータ教室など充実した設備があります。

### (2) 教育方針

知性を磨き真理を探究し、自他を敬愛できる寛容と協和の心を持った、誠実で愛情豊かな人財の育成をめざし、次の目標の達成に努めています。

- ①中学校における教育の成果を更に発展拡充し、国際社会の有為な形成者として必要資質を養う。
- ②社会において果たさなければならない使命を自覚し、個性に応じて自らの進路を選択できる高い志と生きる力を養う。
- ③社会の変化にも対応できる起業家的資質を持ち、豊かな感性と思いやりの心を持った、情操豊かな人格の形成に努める。

### (3) 教育課程の特色

本校では、生徒一人ひとりの進路希望達成を目指し、進路に応じたカリキュラムを設定しています。

#### 普通科

1年生は、全員共通科目を学び、2年生よりそれぞれの進路に応じて「地域創造系」「文理系」に分かれて学びます。

#### 【地域創造系】

「地域で学ぶ地域学」をテーマに南三陸町の資源である山や海などをフィールドとし、学校設定科目「地域学」「地域探究学」で町内の事業所と連携した学びに取り組んでいます。柔軟な発想を持ち、これまでにないアイデアなどを考え、実際に試してみるといった活動をしています。

目指す進路：大学（地域、行政、観光）、専門学校、公務員、民間企業など

#### 【文理系】

国公立大学、私立大学の一般選抜（共通テスト利用含む）受験に対応したカリキュラムで現役合格を目指します。科目選択により、文系・理系それぞれ目指す進路に合わせた学習が可能です。小規模校のメリットである少人数指導ができることを活かし、生徒一人ひとりの個性に合わせた指導が可能です。

目指す進路：国公立大学、私立大学、専門学校（看護系）、公務員など

#### 情報ビジネス科

情ビ科は、一言で言うと「資格と特技、趣味欄が書ききれなくなる学科」です。商業の専門学科ですが、皆さんがイメージする商業科とはだいぶ違うと思います。簿記や情報処理などといった学習に加え、Linux や空撮ドローン、水中ドローン、バーチャルリアリティなどの最新鋭の機器や技術を学ぶことができます。昨年度文部科学省のDXハイスクー

ルに採択され、より充実した教育環境となっています。

目指す進路：大学（情報、経済、経営、商学）、専門学校、公務員、民間企業、など

### (4) 行事・生徒会活動・部活動

数ある行事の中でも、本校の初代校長である尾形先生の名に因んだ「尾形杯」というペナントレースのようなイベントがあり、合唱コンクール、旭ヶ浦祭、体育祭の総合得点で優勝学年が決まります。

生徒会活動は、連携する町内の中学校との部活動交流や防災クラブの生徒が中学校に行き防災訓練のサポート、交流他校との交流や台湾の学校との交流が盛んに行われ、今年度もオンライン、対面交流が行われています。また、募金活動といった奉仕活動も行っています。

部活動は、運動部・文化部ともに多彩な部があり、陸上競技部は、毎年東北大会に出場し、令和に入ってからも3人がインターハイに出場しています。自然科学部も、環境甲子園奨励賞や高校生海洋環境保全発表会優秀賞、他にも多数の大会で表彰されています。

### (5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
大学	10	11	6
短期大学	4	0	4
専各学校	17	6	21
就職(県内)	14	24	20
就職(県外)	2	4	4
その他	0	0	0
卒業生計	47	45	55

主な進路先（令和7年3月卒業生）、  
( )内は人数 (1)は省略。

<私立大学>

東北学院大学(3)、石巻専修大学(2)、東北工業大学、東北福祉大学、東北生活文化大学、尚綱学院大学、東北芸術工科大学

<専修各種学校>

気仙沼市立病院附属看護専門学校、名古屋平成看護専門学校、東北職業能力開発大学校、気仙沼高等技術専門学校、仙台ECO動物海洋専門学校(2)、国際マルチビジネス専門学校、東放学園音響専門学校、等

<就職>

宮城県職員、(株)カネキ吉田商店、(有)スガワラ電化、歌津つつじ苑、(株)登米村田製作所(2)、トヨタ東北(株)(3)、日本製紙(株)石巻工場、(株)イー・アール・シー、(株)ヤマダデンキ、自営業(漁師)、等

### 3 学校魅力発信

#### (1) 活躍する卒業生

##### 令和3年度卒 山内 美空 (多機能サポートセンターこじか)

南三陸高校では国内外での幅広い交流活動をはじめ多くの新しい経験を行うことができます。しかし、私の高校時代はコロナウイルス。ここが=になってしまいう世代でした。行事や交流会、普段の生活にも制限があり、とても充実したものとは言い難い学校生活でした。ただ、そんな日々から学んだこともあります。それは、人と人との関わりの大切さです。家族や親戚、友達と会えることが“あたりまえ”だと思っていましたが、コロナ禍で人と人の距離を考えなくてはならなくなったとき、改めて自分は周りの人たちから元気をもらっていたことに気が付きました。こういった考え方が「保育士になりたい」という漠然とした夢から「子供たち一人ひとりに寄り添いながら個性を大切にできる保育士になりたい」という具体的なものへと変わること大きな影響を与えてくれました。また、短大に入学してからの講義や施設実習を通して、これまでの障がい児や障がい者に対する考え方とイメージが大きく変わりました。「障がいについてもっと知りたい」「支援施設で働いて利用者さんの個性を大切にしながら関わりたい」そう強く思った私は短大を卒業後、実習でお世話になった登米市にある「多機能サポートセンターこじか」に就職をし、現在は、保育士兼生活支援員として働いています。まだまだ利用者さんとの関わり方が分からず、試行錯誤の毎日ですが、うまくコミュニケーションがとれたときや、笑顔を見せてくれたとき、本当にこの仕事をしてよかったなと思います。今の私は、憧れの先輩のようになるべく「全力で楽しむこと」を忘れずに施設の利用者さんと日々新しいことに挑戦し続けています。中学生のみなさん、周りの目が気になるお年頃ではあるかと思いますが、今はやりたいことをとことんやってください！失敗したり、成功したりとたくさん経験することで、自分がやりたいことを見つけ出せると思います！南三陸高校に入学して、いろいろな経験を積みながら目標を明確にし、夢の実現へと繋げましょう！そして、中学生のみなさんには、ぜひ南三陸高校で私たちができなかった”たくさん経験”をしてほしいと思います。



##### 令和2年度卒 及川 拓海

##### (気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防職員)

私が高校生活の中で、一番の学びになったことは、「南三陸町について学ぶ」ということです。総合的な学習の時間におこなわれる「地域探究活動」や、町の職員さんと意見を交わしあえる「まちづくり議会」、「防災活動」、「台湾交流」と普段の学習に加え、他の学校では味わうことのできない学習をし、自分自身を成長させることができました。



私は、大学に進学してからも、南三陸町のことについて、探究し、よりより地域になっていくための学習を行っていました。具体的には、海や森を題とする「自然分野」と地域産業について学ぶ「社会と産業分野」、そして高齢化社会や子育てについて学ぶ「地域福祉分野」の地域を形成する上で最も重要なこの3つの分野を学んでいました。この地域を将来的に守っていく、そんな夢を実現させるためにまずは、大学の教授や様々な意見を持った仲間達から学び、自分の中での引き出しを多く作る為に頑張っていました。専門分野ではないものを一生懸命学習したり、他地域と比べ新しいことを考えたりと一見簡単そうに見えることが、すごく難しく悩むことが多々あります。しかし、これが将来につながる為の大きな壁で乗り越えた先に良い未来があると信じているので頑張った大学での勉強を頑張る、4月からは、小学校からの夢であった消防士として、地元のために貢献していきたいです。

中学生の皆さんは、今たくさん可能性が溢れていて、たくさん選択肢がある中でやりたいことがたくさんあるかもしれません。ですが、そんなみなさんには、普段の学習に加え、ぜひこの南三陸町のことについて学び、自分の故郷でしか見つけられない事を体験・発見し、自然豊かなこの地域で学習して自分自身を高めてみませんか？

#### (2) 部活動紹介

##### 運動部

弓道部、剣道部、硬式野球部、女子ソフトテニス部、女子バレーボール部、卓球部、柔道部、男子サッカー部、バスケットボール部、バドミントン部、陸上競技部

##### 文化部・愛好会等

自然科学部、商業部、総合文化部(手芸班・美術班)、音楽部、軽音楽部、郷土芸能愛好会、防災クラブ、エコシステムクラブ

#### (3) 学校制服紹介

令和5(2023)年度入学生より制服のマイナーチェンジが行われました。デザインは紺色のブレザーに、スクールカラーでもあるブルーをシャツとネクタイに取り入れ、2つボタンを採用しました。

夏服は男女ともワイシャツとポロシャツを選んで着用できます。また、女子はスカートとストラックスを選んで着用できます。



#### (4) 新施設紹介

##### 令和4(2022)年に完成した新第一体育館



##### 令和5(2023)年に完成した人工芝の新テニスコート



### 4 生徒会長からのメッセージ

南三陸高校には、学びの場としての魅力がたくさんあります。先生方との距離が近く、進路や学習の相談だけでなく、自分の成長に必要な経験や情報を得ることができます。また、公営塾「志翔学舎」も活用でき、より良い環境が整っています。さらに、本校では地域とのつながりを大切にしています。地元企業の協力を得ながら地域課題に取り組みすることで、実践的な考える力を養うことができます。また、台湾の姉妹校との交流を通じて、多文化理解を深め、視野を広げる機会もあります。このように、南三陸高校は学びの場としても、人とのつながりを築く場としても、とても充実した環境が整っています。高校生活は、一生の思い出となる大切な時間です。南三陸高校で出会う仲間や先生方とのつながりを大切にしながら、自分の可能性を広げましょう。ぜひ、ここでしかできない経験を積み、充実した高校生活を送ってください。

